

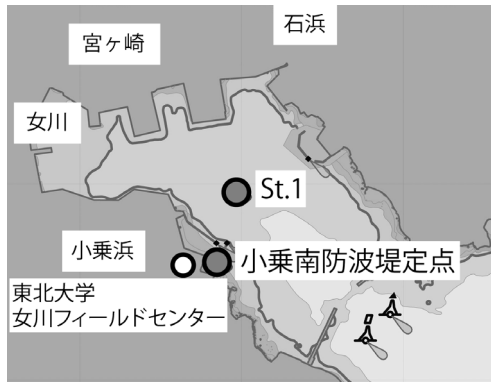
週刊 女川湾海況速報 (No.24)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

12 月 25 日から 28 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は下降。経時的にも下降。鉛直的には表層(0m)で0.1~0.2℃低い値。海面冷却の影響と推定。塩分も先週と比較して下降。経時的にはほぼ一定。

水深 [m]	12月25日 (火)	12月26日 (水)	12月27日 (木)	12月28日 (金)
0	11.3 (33.2)	10.9 (33.1)	10.5 (33.1)	10.1 (33.2)
6	11.4 (33.4)	11.0 (33.4)	10.7 (33.4)	10.3 (33.4)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル(千分率)。1パーミル=1PSU(実用塩分単位)。
*27日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して、下降傾向。経時的には26日に全層で下降。その後、徐々に上昇。鉛直的には底層(6m)で0.2~0.3FTU高い値。

水深 [m]	12月25日 (火)	12月26日 (水)	12月27日 (木)	12月28日 (金)
0	0.5	0.4	0.4	0.6
6	0.8	0.6	0.7	0.8

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して、上昇傾向。8~9mg/l 台を維持。経時的には26日に全層で上昇。その後、表層では8.9mg/l、底層では8.6~8.7mg/l を維持。

水深 [m]	12月25日 (火)	12月26日 (水)	12月27日 (木)	12月28日 (金)
0	8.5	9.0	8.9	8.9
6	8.4	8.6	8.6	8.7

単位は mg/l。水産用水基準(水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値)：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 10.6℃、33.3~33.4パーミル、鉛直的にほぼ同様。濁度は 0.8~0.9FTU、鉛直的にほぼ一定。溶存酸素は 8.5~8.6mg/l、鉛直的にほぼ一定。

12月27日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	10.6	33.3	0.8	8.6
5	10.6	33.4	0.8	8.5
10	10.6	33.4	0.8	8.5
15	10.6	33.4	0.8	8.5
20	10.6	33.4	0.9	8.5

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室
Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。